

授業科目 疫学特論	科目概要・形式 2単位 30時間	配当年次 1年 前期
科目責任者	吉池 信男	
担当者	吉池 信男	
<p><b>1. 科目のねらい・目標</b></p> <p>地域、職域、学校、臨床などの場において、集団の健康状態とその背景因子の把握・分析、介入（治療）効果の評価に不可欠な「疫学」に関して、基本的な考え方と手法を学びます。さらに、受講生の専門性や研究内容などを勘案しながら講義を進め、いくつかの研究論文を読んでいきます。</p>		
<p><b>2. 授業計画・内容</b></p> <p>(1) 疫学とは何か  (2) 疾病頻度の測定  (3) ～ (4) 疫学研究方法  (5) 偏りと交絡  (6) 因果関係  (7) スクリーニング  (8) 臨床疫学、疫学と倫理  (9) ～ (14) 疫学研究論文の理解と活用</p>		
<p><b>3. 教科書、参考書</b></p> <p>(教科書) 中村好一：基礎から学ぶ楽しい疫学 第3版. 医学書院, 2012  (参考書) 川村 孝：臨床研究の教科書: 研究デザインとデータ処理のポイント. 医学書院, 2016</p>		
<p><b>4. 成績評価方法</b></p> <p>授業中に適宜ミニテストを行います。その他、出席状況、プレゼンテーション、レポートを勘案して、総合的に評価します。</p>		
<p><b>5. 受講要件</b></p> <p>特にありませんが、「統計学基礎」がある程度理解できることが望まれます。</p>		
<p><b>6. 社会人学生に対する配慮</b></p> <p>原則として、土曜日の開講とします（「統計学基礎」と同じ日）。Web ラーニングシステムでの受講については、ご相談下さい。</p>		
<p><b>7. その他</b></p>		